

## ブラックボックス

 芥川賞受賞作品

著者名： 砂川 文次  
出版社： 講談社

ずっと遠くに行きたかった。今も行きたいと思っている。  
自分の中の怒りの暴発を、なぜ止められないのだろう。  
自衛隊を辞め、いまは自転車便メッセンジャーの仕事に就いているサクマは、都内を今日もひた走る。昼間走る街並みやそこかしこにあるであろう倉庫やオフィス、夜の生活の営み、どれもこれもが明け透けに見えているようで見えない。張りぼての向こう側に広がっているかもしれない実相に触れることはできない。

## 同志少女よ、敵を撃て【直木賞候補作】

著者名： 逢坂 冬馬  
出版社： 早川書房

1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、ドイツ軍の襲撃により突如奪われる。母を殺され、復讐を誓った彼女は、女性狙撃小隊の一員となりスターリングラードの前線へ——。第11回アガサ・クリスティ賞大賞受賞作。

## オン・ザ・プラネット【芥川賞候補作】

著者名： 島口 大樹  
出版社： 講談社

「終わったのかな」「なにが?」「世界?」  
同じ車に乗り込んだばかりの四人は、映画を撮るために鳥取砂丘を目指す。  
注目の新星が重層する世界の「今」を描く、ロード&ムービー・ノベル。

## 我が友、スミス【芥川賞候補作】

著者名： 石田 夏穂  
出版社： 集英社

前代未聞の筋トレ小説、誕生!  
「別の生き物になりたい」。  
筋トレに励む会社員・U野は、Gジムで自己流のトレーニングをしていたところ、O島からボディ・ビル大会への出場を勧められ、本格的な筋トレと食事管理を始める。しかし、大会で結果を残すためには筋肉のみならず「女らしさ」も鍛えなければならなかった——。

## 塞王の楯

 直木賞受賞作品

著者名： 今村 翔吾  
出版社： 集英社

どんな攻めをも、はね返す石垣。  
どんな守りをも、打ち破る鉄砲。  
「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説!

## 新しい星【直木賞候補作】

著者名： 彩瀬 まる  
出版社： 文藝春秋

幸せな恋愛、結婚だった。これからも幸せな出産、子育てが続く……はずだった。順風満帆に「普通」の幸福を謳歌していた森崎青子に訪れた思いがけない転機——娘の死から、彼女の人生は暗転した。離婚、職場での理不尽、「普通」からはみ出した者への周囲の無理解。「再生」を期し、もがけばもがくほど、亡くした者への愛は溢れ、「普通」は遠ざかり……。

## Schoolgirl【芥川賞候補作】

著者名： 九段 理江  
出版社： 文藝春秋

どうして娘ってというのは、こんなにいつでも、お母さんのことを考えてばかりいるんだろう。社会派YouTuberとしての活動に夢中な14歳の娘は、私のことを「小説に思考を侵されたかわいそうな女」だと思っている。そんな娘の最新投稿は、なぜか太宰治の「女生徒」について——?

## 神よ憐れみたまえ

著者名： 小池 真理子  
出版社： 新潮社

ラストの告白に衝撃、落涙必至!  
10年の歳月をかけて紡がれた別離と再生。  
わたしの人生は何度も塗り換えられた。いくつもの死と性とともに——。  
昭和38年11月、三井三池炭鉱の爆発と国鉄の事故が同じ日に発生し、「魔の土曜日」と言われた夜、12歳の黒沢百々子は何者かに両親を惨殺された。母ゆずりの美貌で、音楽家をめざしていたが、事件が行く手に重く立ち足はだかる。黒く歪んだ悪夢、移ろいゆく歳月のなかで運命の歯車が交錯し、動き出す……。